

chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS)の胃粘膜病変の 内視鏡像と病理学的な特徴の解明

研究分担者 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野 教授
研究協力者 細江直樹 慶應義塾大学医学部内視鏡センター 准教授

研究要旨：

chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS)の上部消化管内視鏡画像を全国から集積し、その内視鏡画像の特徴を解析する。さらに胃病変の生検検体がある場合は病理検体(プレパラート)も集積し、内視鏡所見と病理所見を対比し、その成因を明らかにする。内視鏡所見はアトラスを作成し、広く公表する。

共同研究者

緒方晴彦（慶應義塾大学医学部内視鏡センター）、長沼 誠、金井隆典（慶應義塾大学医学部消化器内科）、久松理一（杏林大学医学部第三内科学）、大宮直木（藤田保健衛生大学消化器内科）、安川重義（福岡大学筑紫病院消化器内科）、平井郁仁（福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター）、田邊 寛、岩下明德（福岡大学筑紫病院病理部）、平野敦士、梅野淳嗣、江崎幹宏（九州大学病態機能内科学）

A. 研究目的

chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS)の小腸病変の内視鏡的な特徴は明らかになりつつあるが、胃粘膜病変の内視鏡像は不明な部分が多い。そこで診断確定済み CEAS 症例の上部消化管内視鏡画像を全国から集積し、その内視鏡画像の特徴を解析する。さらに胃病変の生検検体がある場合は病理検体（プレパラート）も集積し、内視鏡所見と病理所見を対比し、その成因を明らかにする。内視鏡所見はアトラスを作成し、広く公表する。また、2016年3月に発刊した CEAS 画像診断アトラスも約2年を経過し、症例の入れ替え、遺伝学的に診断の確定した症例の表記

の変更を主とした改訂を行う。

B. 研究方法

事前に各施設における倫理委員会の承認を得た後、「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」班（松本班）で行った全国調査より、診断確定済み CEAS 症例を登録した施設に対し、内視鏡画像、病理検体の提出の依頼をし、集積する。同時に、臨床データ（性別、年齢、発症年齢、既往歴、家族歴、採血データ、罹患部位）を集積する。内視鏡画像解析、病理所見との対比（プロスタグランジントランスポーターの発現の免疫染色を含め）を行う。さらに集積した胃画像アトラスを作成し、小腸病変に対しては前回作成した CEAS 画像診断アトラスを改訂する。

（倫理面への配慮）

本研究は各施設の倫理委員会の承認の後に研究を行う。個人情報の保護にも十分に配慮し、各施設間のデータのやり取りには匿名化情報を用いる。

C. 研究結果

平成 30 年度は、本研究計画の発案、研究体制

見直しを行った。邦人以外の初の CEAS 症例（韓国籍）を診断し報告した。

D. 結論

平成 30 年度は、本研究計画の発案、研究体制の見直しを行った。次年度は慶應義塾大学における倫理委員会の承認を得た後に、他施設の倫理委員会の承認、画像、病理検体の収集、画像アトラスの改訂を行う。

E. 健康危険情報

なし。本研究に起因する有害事象を認めず。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. Sun X, Hosoe N, Miyanaga R, Kimura K, Mizuno S, Takabayashi K, Naganuma M, Niizeki H, Seki A, Ogata H, Kanai T. A male Korean who was diagnosed with chronic enteropathy associated with SLC02A1 (CEAS): case report with literature review.

BMJ Open Gastroenterol. 2018 Oct 23;5(1):e000223.

2. 細江 直樹, 緒方 晴彦, 金井 隆典
小腸粘膜性病変を見直す
日本消化器病学会雑誌 (0446-6586)115 巻 7 号 Page605-611(2018.07)

2. 学会発表

1. Matsuno Y, Umeno J, Fuyuno Y, Okamoto Y, Yasukawa Y, Hirai F, Watanabe K, Hosoe N, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T, Esaki M Usefulness of prostaglandin E-major urinary metabolite measurement for the differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS) and Crohn's disease
Crohn's & Colitis Congress 2018, Las

vegas, Jan, 2018.

2. 高林 馨, 細江 直樹, 緒方 晴彦
新型細径シングルバルーン内視鏡の有用性 (ワークショップ)
第 95 回日本消化器内視鏡学会総会. 東京, 2018 年 5 月
3. 細江 直樹, 木村 佳代子, 高林 馨, 長沼 誠, 關 里和, 久松 理一, 緒方 晴彦, 金井 隆典
当院における Chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene(CEAS)症例の特徴
第 56 回日本小腸学会学術集会. 東京, 2018 年 10 月
4. 高林 馨, 木村 佳代子, 細江 直樹, 緒方 晴彦, 金井 隆典
クローン病に適したシングルバルーン内視鏡の選択(シンポジウム)
第 107 回日本消化器内視鏡学会関東地方会. 東京, 2018 年 12 月

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし